

九州ネット

1月25日

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

大分県開催<とり天ラウンド>

R2.1.25(Sat)

コンパルホール305会議室

令和元年度九州ネットワーク研究会「とり天ラウンド」を大分市で開催しました。県外から7名、県内から16名、合計23名の方々の参加をいただき、内容の濃い、充実したラウンドとなりました。

〇テーマ： 系統的な“わかる” “できる” “楽しい” 体育の授業作り

◆トピックス1： 体育の学習評価について スポーツ庁政策課教科調査官 関 伸夫 氏

①令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 ②学習指導要領改訂のポイント ③学習評価の改善について講義をいただきました。特に、③学習評価の改善の中で、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の工夫について、ノートやレポート等における記述や授業中の発言や教師による行動観察の見取り方があるなどの示唆をいただきました。

◆トピックス2： 豊かなスポーツライフにつながる体育の授業 ～全国学体研を振り返って～

国立大学法人埼玉大学教育学部准教授 石川 泰成 氏

埼玉大会での3校種の研究内容（①指導と評価の一体化を図った単元案・単元計画の作成、②主体的・対話的で深い学びを目指した指導の工夫）や研究の成果について講義をいただきました。

◆ワークショップ： 12年間の系統性からコア・コンセプトを考える

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツ教育学科教授 佐藤 豊 氏

12年間の系統性（①各種の運動の基礎を培う時期、②多くの領域の学習を経験する時期、③卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることができるようにする時期）を踏まえ、「体育」（球技、体づくり運動、水泳、陸上）の内容について、ワークショップを行いました。

<グループでの活動>



<陸上競技について>



<球技について（ゴール型）>

終わりに 参加していただいた先生方で12年間の系統性を踏まえて、「体育」の内容について協議し、ワークショップを行いました。このような協議を積み重なっていくことで、今後更に授業改善が進んでいくと思われました。参加してくださった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



(関伸夫氏)



(石川泰成氏)



(佐藤豊氏)